

## 9月30日（水）2年 総合的な探究の時間

経済産業省「未来の教室実証事業」の今年度実証校として廿日市高校は普通科総合的な探究の時間のカリキュラム改革を行っています。テーマは「地域課題を解決することによる『地域のGDP増加』につながる実践的プロジェクト学習」です。

総合的な探究の時間ではテーマ別に56班に分かれ企画書を作成してきました。その中でビジョンとゴールが明確であることや具体的な手立てに実効性のあることなどを評価し、今後YM-ZOPの指導の下でプロジェクト学習を行うチームとして3つの班を選抜しました。

9月30日（水）にYM-ZOP(YMFG ZONE プラニング)より講師3名と実証事業事務局である株式会社キャリアリンクより代表取締役 若江氏が来校しました。



YM-ZOPの講師の皆様とキャリアリンクの若江氏が来校しました。  
冒頭、若江氏から挨拶と激励をいただきました。

YM-ZOPによるPBL（プロジェクト学習）がスタートしました。





それぞれの班がテーマを紹介し企画書の内容を発表しました。

企画書をもとに、改めてビジョンとゴールを掘り下げました。



横河レンタ・リース株式会社、インテル株式会社、日本マイクロソフト株式会社の協力により、一人一台のパソコンが貸し出されました。放課後生徒自らセットアップをしました。

プロジェクトの実施においてパソコンを道具として活用することはもちろん、このように社会に出てからも必要な知識・技能を実践的に獲得していきます。